

H30年7月9日(月)

テーマ：小児のフィジカルアセスメントと退院支援

講師：塩路清美先生 和歌山県立医科大学附属病院 小児救急看護認定看護師

場所：看護研修センター

参加者：35名

ちょっと、講義内容を共有しましょう

フィジカルアセスメント

子どもは大人を小さくしたわけではありません。

急変しやすく、重篤化しやすく、危機回避能力が未熟、保護者の管理下など。

誰が聞いてもある程度同じ中身のできるものは、最低限の力として身につけておきましょう。

SAMPLE＝病歴聴取

S=sign 症状

A=allergy アレルギーの有無

M=medication 今通院しているか。飲んでいる薬は？

P=past medical history 既往歴。今までの病気・手術。

L=last meal 最後にいつ何を飲食したか。

E=event 出来事。何が起きたのか。

“AVPU” 小児の意識レベルのみかた

A : **A**lert (意識清明)

V : **V**oice (呼びかけに反応する)

P : **P**ainful (痛み刺激に反応する)

U : **U**nresponsive (どんな刺激にも反応しない)



退院支援

誰が退院支援を中心になって行いますか。

高齢者のように介護保険を活用したケアマネさんは来てくれません。

安心して生活ができるようしっかり考えましょう。



H30年7月14日(土)

テーマ：ステップ3 看護研究に役立つ統計学

講師：岩原昭彦先生 京都女子大学 発達教育学部 教育学科 心理学専攻
教授

場所：ビッグU (田辺市)

参加者：18名

ビッグUで行う統計学の研修会は、会場に **Excel のバージョンが統一されたパソコン**があるため、研修がスムーズに進んだ。

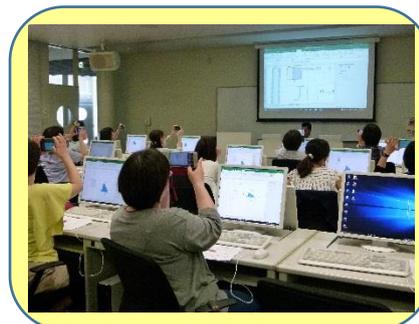
先生が作成してくれたデータを基に、Excel でできる統計について学ぶ。

毎年、Excel がうまく使えない人や無料の Excel ソフトを使われている人があり、統計処理についての操作に遅れが出て、結局は難しかった・・・で終わる人が多かった。

しかし、今回は必ず Excel が使える方という条件を付けたためか、比較的スムーズに進行し、自分の研究についての分析方法などを質問する人も多かった。



ホワイトボードを使って説明、共有パソコンで先生と一緒に操作。 **でも、難しいです！**



先生が操作を行っているところを、「ムービーに撮ってもいい」と許可があると、皆さんが一斉にスマホで構えて、「はい、スタート！」
家でも繰り返し、練習してください。

質問も何回もあり、自分の研究に関する悩みは解決できたでしょうか？
お疲れ様でした。



H30年7月21日(土)

テーマ：看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版 2018

講師：午前 DVD

午後 ファシリテーター

日本赤十字社和歌山医療センター 看護部長 中尾 ひろみ 様

名手病院 看護部長 稲垣 伊津穂 様

国保日高総合病院 看護部長 小松 香世美 様

済生会和歌山病院 看護部長 廣瀬 朱実 様

和歌山県立医科大学附属病院 看護副部長 岡室 優 様

場所：看護研修センター

参加者：78名

午前中は日本看護協会作成のDVDによる講義。間に数回、前後左右の人と小ワークがあったが、皆さんスムーズにワークをしていた。最初から比較的活発なワークになっていた。

午後からは、前もって希望を聞いていた課題別にグループワークを行う。そこで、ファシリテーターの5名の先生方に走り回ってもらった。

5名の認定看護管理者の方がグループに名称をつけたり、グループの中に一緒に入って方向性を示してくれたり、話に行き詰った時には「こんな風に考えてみると…」などとアドバイスをしてくれていた。

そのため、午後のグループワークは、大変和気あいあいと楽しく話し合いができたようだ。

午前のDVDでの講義



講義の途中での小ワーク
皆さん自主的に振り返ったり
していた



グループワークにはファシリテーターが入って、
いろいろなアドバイスをしてくれる



最後の発表は、活発に話ができるよう
にファシリテーターがしてくれた。
ファシリテーターの皆様、ありがとう
ございました。そして受講生の皆様、
お疲れ様でした。

H30年7月28日(土)

テーマ：新人対象研修

もう悩まない！深める倫理、使えるコミュニケーションスキル

講師：榎本裕紀子先生 日本赤十字社和歌山医療センター 精神看護専門看護師

場所：看護研修センター

参加者：103名

まず、「あなたはどのような理想の看護師像を持っていますか？」「どんな看護師になりたいですか？」で始まり、「相談してよかったと感じた経験は？」「相談相手はどんな印象の人でしたか？」「どんな言葉遣いでしたか？」などの質問形式を個人で考え、それを共有するために何人かが発表する。「相談して不安がなくなった」「否定しないで聞いてくれた」などの発表があり、相談してよかった経験をしている人も多いようだ。

また、敬語についても考える。普段敬語と思って使っている言葉。意外に間違いがあるかも？

皆さんは間違い敬語を使っていますか？

倫理については講義とグループワークで考える。

最後に再度、「あなたはどんな看護師になりたいですか？」研修会の最初と最後、理想の看護師に変化はありましたか？

研修終了後の方が、「どんな」の部分が具体的に変わったみたいです。



最初の座学と違い、GWは和気あいあい！
徐々に立ち上がって話し合い・模造紙に
まとめをしていた。

GW後の発表はなく、半分ずつ各グループを見
学。「あんな考え方があるんだ」「きれいにまとめ
ているな」などの声が聞こえ、所々で質問も。